

令和 8 年 3 月 1 日

春日井市消防長

非常警報設備、漏電火災警報器及び誘導灯の工事着手の届出に対する指導要領

非常警報設備、漏電火災警報器及び誘導灯（以下「非常警報設備等」という。）については、消防法施行令第36条の2の規定により消防設備士でなければ行っ
てはならない工事から除外されており、消防法第17条の14の規定による工事着
手の届出を必要としない。

そのため、非常警報設備等は消防機関の事前の確認を受けることなく工事が
着手されることで、設置後に消防法令の技術上の基準に適合していないことが
発覚し、基準に適合するために改めて工事を行う必要が生じることがある。

以上のことから、非常警報設備等を消防法令の技術上の基準に適合させ、適
正に設置指導するため、次のとおり事前に届出を求めるものとする。

1 届出の様式

それぞれの消防用設備等について、次の様式で届出ること。

(1) 非常警報設備

工事整備対象設備等着工届出書（消防法施行規則別記様式第1号の7を
いう。以下同じ。）に非常警報設備（放送設備、非常ベル）概要表（別添1）
を添付して届け出る。

(2) 漏電火災警報器

工事整備対象設備等着工届出書に代えて、漏電火災警報器着工届出書（別
添2）を使用して届け出る。

(3) 誘導灯

工事整備対象設備等着工届出書に代えて、誘導灯着工届出書（別添3）を
使用して届け出る。

2 その他

(1) 届出は、工事に着手しようとする日の10日前までに行うこと。

(2) 工事に係る設計に関する図書として、次の書類を添付すること。

ア 建築に関する図書(付近見取図、平面図、立面図、断面図及び仕上表等)

イ 設備に関する図書(消防用設備等の設計書、仕様書、計算書、系統図及び配線図等)

(3) 前(2)の図書は、必要に応じて省略することができる。

別添 1

非常警報設備 〔 放送設備
非常ベル 〕 概要表

使用状況	専用設備 共用設備						
増幅器	型名	方式	電 源	消費電力	出 力		
		トランジスター 真空管	AC V DC V	W	定格 W (最大 W)		
操作部	制御区分	区分	制御階数	～ ・ ～			
操作装置	設置場所	階	用途 (室名)	火災覚知の方法	受信機・非常電話その他		
起動装置	押ボタン・非常電話						
階 別	スピーカー			ベル			
	W	W	計				
階	個	個	個	個			
計							
リモートマイク			個	カットリレー			
ベル	鐘 径	個 数	施設方法	音 量	電 圧		
	mm	個	埋 込 露 出	dB	AC V DC V		
非常電源	専用受電設備		電源系統図添付				
	蓄電池設備 (据置・内蔵)	種 類	容 量	電 圧	充電方式		
		ニッケルカドミ ウム・鉛 密閉型・開放型	時間率 Ah	V	トリクル 浮 動 その他	充電電流 mA	
配 線	電 源 回 路	施 工 方 法		使 用 電 線	太 さ		
		金属管工事	埋 込 露 出			mm	
		ダクト工事	〃 〃			mm	
	ケーブル工事	〃 〃	mm				
	警 報 回 路	施 工 方 法		使 用 電 線	太 さ		
		金属管工事	埋 込 露 出			mm	
ダクト工事		〃 〃	mm				
ケーブル工事	〃 〃	mm					
関連装置	自動火災報知設備・非常電話 その他 ()			警報音	電 子 音		
					ベ ル	鐘 径	定 格
						AC・DC mm	V mA
工事者区分	電 源 ・ 配 線			機 器 取 付			
備考							

(注) 様式に記入されている事項で該当するものは○で囲むこと。

別添2

漏電火災警報器着工届出書

年 月 日

春日井市消防長 様

届出者
住所
氏名

設置の場所					
防火対象物の名称				業 態	
工事施工者	住 所	電話 ()			
	氏 名 〔法人の場合は名称 及び代表者氏名〕				
漏電火災警報器	本体	製造者名・型式			定格電圧 V
	変流器	1.屋外 2.屋内	1.貫通型 2.分割型		定格電流 A
	音響装置	1.ブザー 2.ベル	設置場所	1.守衛室 2.管理人室 3.	
着工予定日	年 月 日	完成予定日	年 月 日		
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄		

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
 - 2 ※印の欄は、記入しないこと。
 - 3 正・副2通提出すること。

別添3

誘導灯着工届出書

年 月 日

春日井市消防長 様

届出者
住所
氏名

防火対象物	所在地				
	名称		用途		
	構造	造 階	延面積	m ²	
工事施工者	住所				
	氏名 〔法人の場合は名称 及び代表者氏名〕				
区 分	A 級	B 級	C 級		
避難口誘導灯	普通形	個	個 (BH形 個)	個	
	点滅形等	個	個	個	
通路誘導灯	普通形	個	個 (BH形 個)	個	
	階段等	個 (非常用照明装置 個)			
客 席 誘 導 灯				個	
信 号 装 置 等	有 ・ 無				
非 常 電 源	蓄電池設備 ・ 自家発電設備				
誘 導 灯 の 消 灯	有 (裏面事項を明記のこと) ・ 無				
工事の種別	1 新設	2 増設	3 改修	4 移設	5 その他
着工予定日	年 月 日	完成予定日	年 月 日		
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄		

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

2 ※印の欄は、記入しないこと。

3 正・副2通提出すること。

(表)

誘導灯の消灯に係る防火管理等について

●自動点灯の場合

点灯方式	
------	--

●手動点灯の場合

消灯する部分	
消灯する誘導灯の種別	
消灯する時間帯	
点滅器等の場所	
消灯操作責任者	
誘導灯の消灯に伴う防火管理等	